

入札説明書

総合評価方式により工事希望型指名競争入札を下記のとおり行いますから、希望があれば米子市建設工事執行規則(平成17年米子市規則第106号)及び米子市会計規則(平成17年米子市規則第44号)を承知のうえ参加してください。

記				
入札に付する工 事	工 事 名	米子駅南広場造成工事		
	工 事 場 所	米子市目久美町地内	工期	契約日から 令和5年3月17日まで
契 約 条 項 を 示 す 場 所		米子市総務部契約検査課		
担 当 課		都市整備課		
入札保証金に関する事項		入札保証金	免除	
現 場 説 明 会		なし		
開 札 の 日 時 及 び 場 所		日時 場所	令和4年8月9日 午前9時30分 本庁舎202会議室	
契 約 保 証 に 関 する 事 項	請負代金の額が130万円を超える工事については、契約の締結と同時に請負代金額の10分の1以上の額を保証する次の各号の一に掲げる保証を付さなければならない。			
	(1) 契約保証金の納付			
	(2) 契約保証金に代わる担保となる有価証券等の提供			
	(3) 銀行若しくは市長が確実と認める金融機関又は保証事業会社(公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社をいう。以下同じ。)の保証			
	(4) 公共工事履行保証証券による保証			
		(5) 履行保証保険契約の締結		
前 払 金	有	40%以内		
部 分 払	有	回数は、米子市建設工事執行規則による ※部分払いに替えて中間前払の選択も可		
入札に関する注 意 事 項	1. 開札前天災地変等のやむを得ない事由が生じたとき、又は競争の意思がないと認められるときは、入札の執行を中止し、又は取り止めることがある。			
	2. 入札参加者が1者であっても、入札を執行するものとする。			
	3. 入札に参加する者に必要な資格のない者のした入札及び米子市郵便入札実施要領第4条に定める入札は、無効とする。			
	4. 入札者は、到達した入札書は、書換え、引換え又は撤回することができない。			
	5. 入札者は、入札書到達後においても入札執行の完了までは入札の参加を辞退することができる。			
	6. 本件入札においては、入札者を米子市総合評価方式による競争入札試行要領に規定する方法で採点評価した評価値が最も高い者を落札予定者とし、応募書類等について審査した後に落札決定する。			
	7. 評価値が最も高い者が2者以上あるときは、当該者にくじを引かせて落札者を決定するものとする。			
	8. 失格基準価格を下回る額による入札を行った入札者は、失格とする。			
	9. 入札書に工事費内訳書及び配置技術者工事成績調書(これに添付する書類を含む。)が同封されていない場合は、失格とする。			
	10. 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に10%に相当する額を加算した金額をもって落札価格(円未満切捨て(単価契約を除く。))とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者であるか免税業者であるかを問わず、見積もった契約希望額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。			
	11. 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律(昭和22年法律第54号)等に抵触する行為を行ってはならない。			
	12. 入札回数は、1回とする。			
そ の 他 の 注 意 事 項	1. 米子市工事希望型指名競争入札実施要領に定める経営内容等が不健全な申込者及び工事成績が不良な申込者は、不指名とすることがある。また、同一入札における資本的、人的関係にある複数の申込者のうち1者のみを指名し、他の者を不指名とすることがある。			
	2. 申込時に届けのあった配置予定技術者の変更は、入札書差出期限まで変更可能とし、その後の変更は原則として認めないものとする。			
	3. 同一の主任技術者は、米子市が発注した工事(通常型指名競争入札及び随意契約によるものを除く。)に3件を超えて従事することはできないものとする。			
	4. 別に定める「建設工事に係る配置予定技術者の取扱いについて」における重複申込者に該当する者は、配置予定技術者重複届出書を所定の方法により提出すること。なお、入札結果により配置予定技術者がいなくなった場合は、失格とする。			
	5. 工事現場に配置する技術者等(主任技術者、監理技術者及び現場代理人をいう。)は、当該建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係(第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係が存在することをいう。)が申込日までに3ヶ月以上ある者に限るものとする。			
施工に関する注 意 事 項	1. 工事設計図書 別添のとおり			
	2. 本工事の施工にあたっては、鳥取県制定「土木工事共通仕様書」、「土木工事施工管理基準」、「公共建築工事標準仕様書」又はその他別に定める仕様書等に基づき実施しなければならない。			
	3. この契約に係る工事の施工にあたっては、ダンプカー協会加入車を優先的に使用するよう努めること。			
	4. 工事着手前に自治会長及び地元関係者に連絡すること。			
米子市建設工事執行規則第14条により公にする予定価格				
調査基準価格 (直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費の5.5/10) × 1.1				
失格基準価格 (直接工事費＋共通仮設費＋現場管理費の9/10＋一般管理費の5.5/10) × 0.99 × 1.1				
総合評価方式で決定する調査基準価格は、1.1を乗ずる前の価格の1万円未満の端数を切り上げて算定する。失格基準価格はさらに0.99を乗じた価格の1万円未満の端数を切り上げて算定する。				

工 事 設 計 書

令和 4 年度		工事名		米 子 駅 南 広 場 造 成 工 事				
				部長	課長	担当課長補佐	審査	設計
設 計 金 額								
工 期	契約日から令和5年3月17日迄							
工 事 場 所	米子市 目久美町地内							
工事概要	駅前広場造成							
	道路土工		一式	防護柵工		一式		
	擁壁工		一式	舗装工		一式		
	カルバート工		一式	構造物撤去工		一式		
	排水構造物工		一式	付帯施設工		一式		
	付帯工		一式	仮設工		一式		
	路側工		一式					

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る特記仕様書

1 目的・主旨

本特記仕様書は、工事及び業務（以下「工事等」という。）における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に必要な事項を定めたものである。受注者は本特記仕様書に従って感染拡大防止に取り組むとともに、感染者等が確認された場合には発注者に速やかに報告するなど、感染拡大防止に向けて適切に対応すること。なお、感染状況の変化等により感染拡大防止対策の変更を指示する場合がある。

2 感染拡大防止に向けた取組

(1) 現場等における感染拡大防止対策

次の感染拡大防止対策を徹底すること。

- ① 工事の現場等においては、現場状況などを勘案しつつ、アルコール消毒液の設置や不特定の者が触れる箇所の定期的な消毒、手洗い、うがいなど、感染予防の対応を徹底するとともに、発熱症状がみられる者の休暇の取得など、すべての作業従事者等の健康管理に留意すること。
- ② 元請事業者をはじめ、下請事業者や技能者など、施工に携わるそれぞれの立場において、極力、三つの密を回避する対策やその影響を最大限軽減するための行動をとること。特に、建設現場における朝礼・点呼や現場事務所などにおける各種の打合せ、更衣室等における着替えや詰め所などでの食事・休憩等、現場で多人数が集まる場面や密室・密閉空間における作業などにおいては、他の作業員と一定の距離を保つことや作業場所の換気の励行など、感染防止対策に取り組むこと。また、別紙の「3つの密を避けるための手引き」を全ての作業従事者に周知するとともに、現場事務所等で掲示（掲示は工事のみ）を行い、三つの密の回避や影響を緩和するための対策に万全を期すこと。
- ③ 作業従事者（下請事業者含む）が、鳥取県の指定する感染流行嚴重警戒地域（Ⅳ）、感染流行警戒地域（Ⅲ）、緊急事態措置区域及び、まん延防止等重点措置区域から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する前の7日間はやむを得ない場合を除き外出を自粛し、その後にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。また、感染注意地域（Ⅱ）から新たに転入（通勤者を除く）する場合は、転入する直前にPCR検査を実施し陰性であることを確認した上で、その結果を事前に監督員等に報告し転入すること。外出自粛中の行動履歴及びPCR検査の結果については、確認することのできる書類を転入前に監督員等に提出すること。この対策に要する費用については、感染防止対策に係る経費として設計変更の対象とするため、事前に監督員等に協議すること。

(2) 県外製作工場での監督員等の立会に検査（出来形・品質）

県外の製作工場における監督員等の立会による検査は行わないこととする。なお、受注者は自主検査を行い、検査結果を監督員に提出し、監督員は書面で検査結果の確認を行うこととする。

(3) 工事等の書類の提出及び受発注者間の打合せ

書類の提出及び受発注者間の打合せは次のとおりとする。

① 書類の提出について

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類：契約書、現場代理人選任（変更）通知書、主任技術者等（変更）選任通知書、工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 発注者又は受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督員等と協議を行うこと。

② 受発注者間の打合せ

ア 打合せは、事前に電子メールなどにより打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

- ・ ①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
- ・ 最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
- ・ マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
- ・ 打合せ等に参加した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

3 感染拡大防止対策に係る経費の設計変更

追加で費用を要する新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施する場合には、実施内容について発注者と協議を行い、必要と認められる対策については、変更施工計画書（又は変更業務計画書）を提出すること。なお必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

4 感染等が確認された場合の対応

新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合には、別紙1及び別紙2により対応すること。

5 新型コロナウイルス感染症に係る工事等の一時中止措置等について

新型コロナウイルス感染症の罹患や学校の臨時休業等の感染拡大防止措置に伴い技術者等が確保できない場合、また、これらにより資機材等が調達できないなどの事情で現場の施工を継続することが困難となった場合のほか、受注者から一時中止や工期又は履行期間の延長（以下「一時中止等」という。）の申出があった場合においては、一時中止等を希望する期間のほか、受注者の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取組状況、地方公共団体からの活動自粛要請等の事情を個別に確認した上で、必要があると認められるときは、工期の見直し及びこれに伴い必要となる請負代金額の変更、一時中止の対応等、適切な措置を行う。

6 下請負人への配慮及び元請負人と下請負人との間の取引の適正化

下請契約においても、工期の見直しや一時中止の措置等を適切に講じるとともに、請負代金の設定及び適切な代金の支払など、元請負人と下請負人との間の取引の適正化のより一層の徹底に努めること。

**新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた
工事及び業務の対応について**

**1 工事及び業務（以下「工事等」という。）で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合の
対応（以下「当対応」という。）（別紙2参照）**

(1) 対象者

発注者:監督員、調査職員（以下「監督員等」という。）を対象とする。

受注者:現場で直接作業する作業従事者（現場代理人、主任技術者、監理技術者、担当技術者、
作業員（下請含む）及び業務で配置される全ての配置技術者）（以下「作業従事者」とい
う。）を対象とする。（社内の事務員、他現場の作業従事者は、接触者、濃厚接触者に該
当する場合であっても当対応の対象外）

(2) 用語の定義

現場等:作業場、事業所等をいう。工事においては工事現場、現場事務所及び休憩所、業務につ
いては執務を行っている事務所をいう。

陽性者:PCR検査により、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された者

濃厚接触者:保健所が濃厚接触者に該当すると判断した者

接触者:PCR検査で陽性が判明した当該現場等作業従事者と、陽性が判明した日から遡って一
週間以内に会話した者

感染の疑いがある者:濃厚接触者、接触者及び咳や発熱等、新型コロナウイルス感染症が疑われ
る症状を呈している者

(3) 感染の疑いがある者が確認された場合の対応

ア 感染の疑いがある者が受注者側の作業従事者に確認された場合

別紙2 「[1] 該当者が受注者側の作業従事者の場合」により対応。

イ 感染の疑いがある者が発注者側の監督員等確認された場合

別紙2 「[2] 該当者が発注者側の監督員等の場合」により対応。

(4) 注意事項

ア 陽性者について

陽性者は、保健所、医療機関等の指導に従う。

陽性者の現場作業への復帰時期についても医療機関等の判断に従う。

イ 濃厚接触者について

濃厚接触者は、保健所の指導に従う。

濃厚接触者の健康観察期間（待機期間）は最終曝露日（陽性者との接触等）から7日間とする。

ただし、道路の除雪業務に従事する者は社会機能維持者として、下記をすべて満たす場合に限り、
受注者判断により濃厚接触者の健康観察期間（待機期間）の短縮を行うことができる。

①当該濃厚接触者が無症状であること

②最終曝露日から5日目にPCR検査若しくは抗原定量検査、又は4日目と5日目に抗原定性検査を
行い、陰性を確認

③待機解除後に業務従事する際は、感染対策を徹底し、10日目までは当該業務以外の不要不急の外出は極力控え、公共交通機関の利用を避けること。

※待機期間短縮に係る詳細については、「新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者の待機期間等について」(<https://www.pref.tottori.lg.jp/302385.htm>)を参照すること。

ウ 接触者について

接触者に該当するか否かは受発注者がそれぞれ判断する。

パーティションの使用、マスク着用の有無を問わず、現場等において、陽性が判明した日から遡って一週間以内に陽性者と会話した者は接触者となる。

接触者はPCR検査で陰性が確認されるまで自宅待機(在宅勤務)とする。

エ (3)アにおける、「現場等の安全が確保されたか」について

工事等の一時中止を解除するにあたり、保健所の指導に従い、機械設備、現場等の消毒作業を実施する。特に保健所から指導が無い場合、消毒完了をもって安全が確保されたとみなす。

オ (3)イにおける、「工事等の一時中止の要否を検討」について

現場等の作業継続が可能な場合、監督員等の追加・変更(通知)や段階確認の臨場を机上とする(指示)等、現場等が継続できるよう監督員体制等の確保に努める。

2 工事等の書類の提出及び打合せについて

(1)工事等の書類の提出

ア 書面による指示、承諾、協議、提出、提示、報告及び通知は、やむを得ない場合及び契約関係書類を除き電子メールにより提出することとする。

※契約関係書類:契約書、現場代理人選任(変更)通知書、主任技術者等(変更)選任通知書、
工程表、完成通知書、請求書、工事出来形部分等確認願

イ 押印書類は押印後にスキャンし、PDFに電子化したうえで電子メールにより送付する。

受理、承諾等の押印後は、押印後の書類を電子化し相手方に電子メールにより送付する。

ウ 受注者の環境、添付書類が多く電子化することが困難な書類など、電子メールによる送付が困難な場合は、事前に監督員等と協議を行うこと。

(2) 受発注者間の打合せ

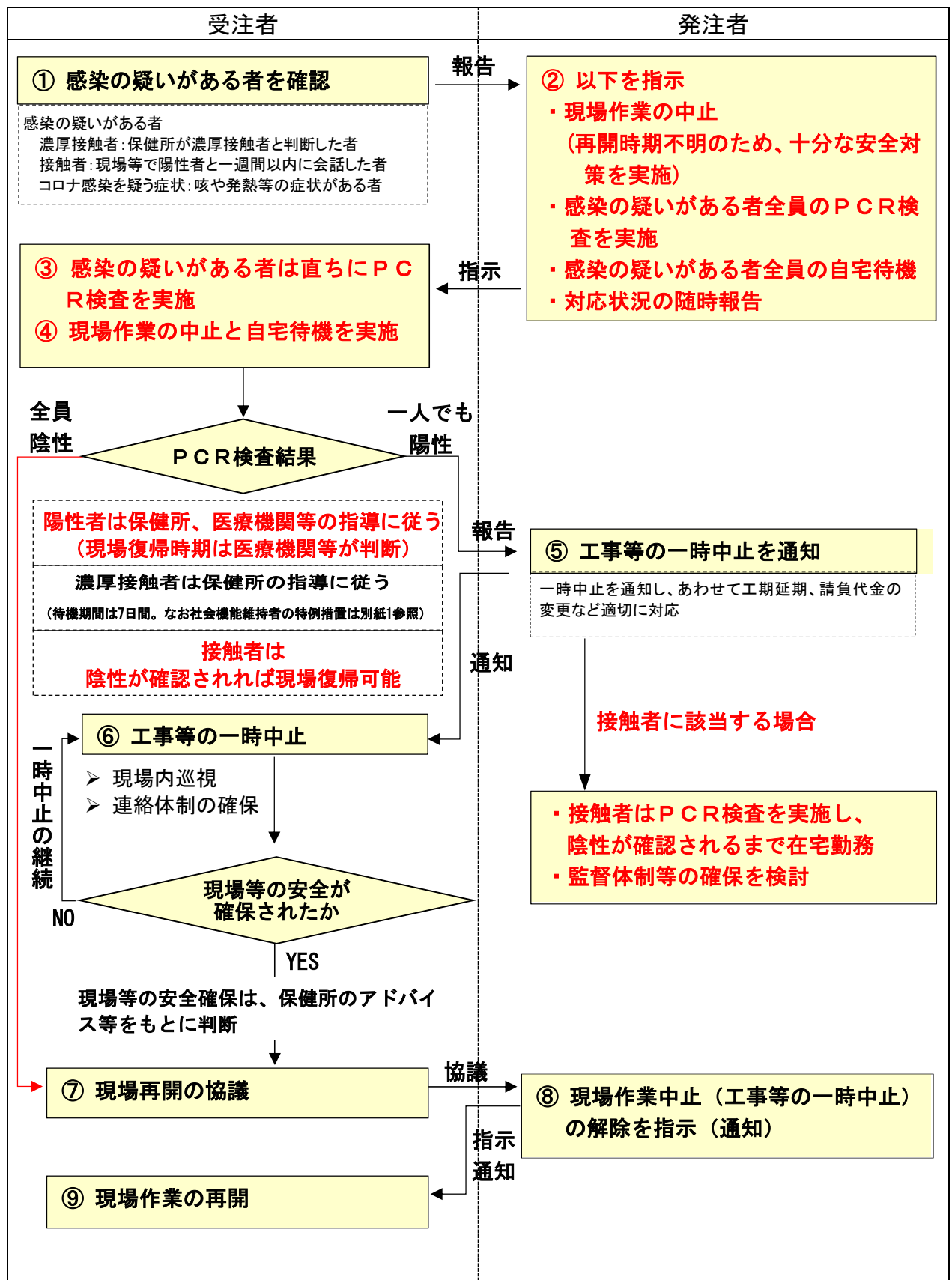
ア 打合せは、事前に電子メール等により打合せに必要な書類を提出したうえで、WEB会議システム、電話、情報共有システム等を活用し、やむを得ない場合、現場立会を除き、対面による打合せは行わないこととする。

イ やむを得ず対面による打合せを行う場合、現場立会を行う場合は、以下の点に留意すること。

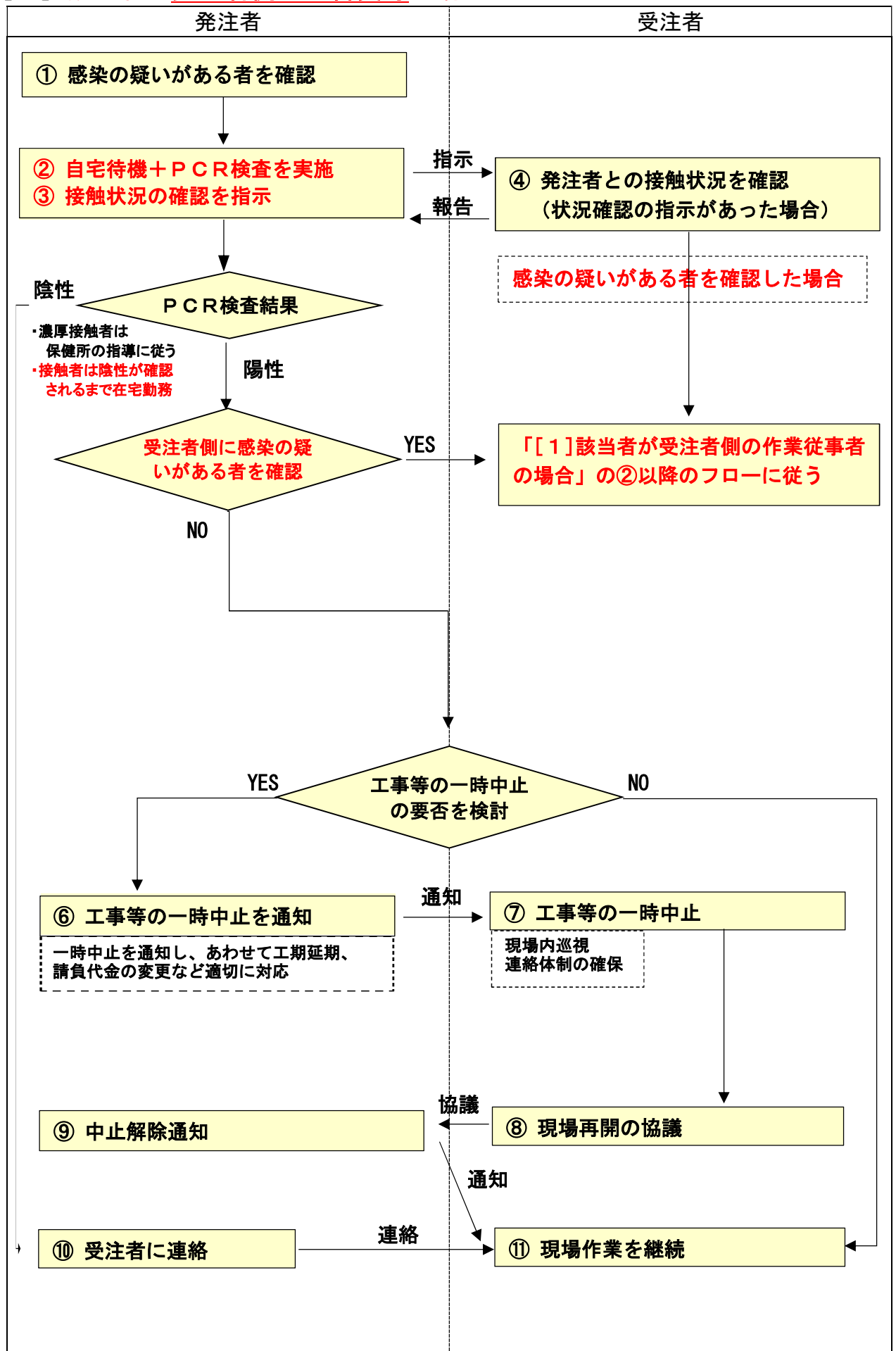
- ・①密閉空間、②密集場所、③密接場面の3つの条件を避けること。
- ・最小限の人数で実施するよう双方で働きかけを行う。
- ・マスク着用を推奨する等、感染予防を徹底する。
- ・打合せ等に出席した全員の氏名を受発注者双方で記録すること。

工事等で新型コロナウイルス感染症の感染等が確認された場合の対応

〔1〕 該当者が受注者側の作業従事者の場合

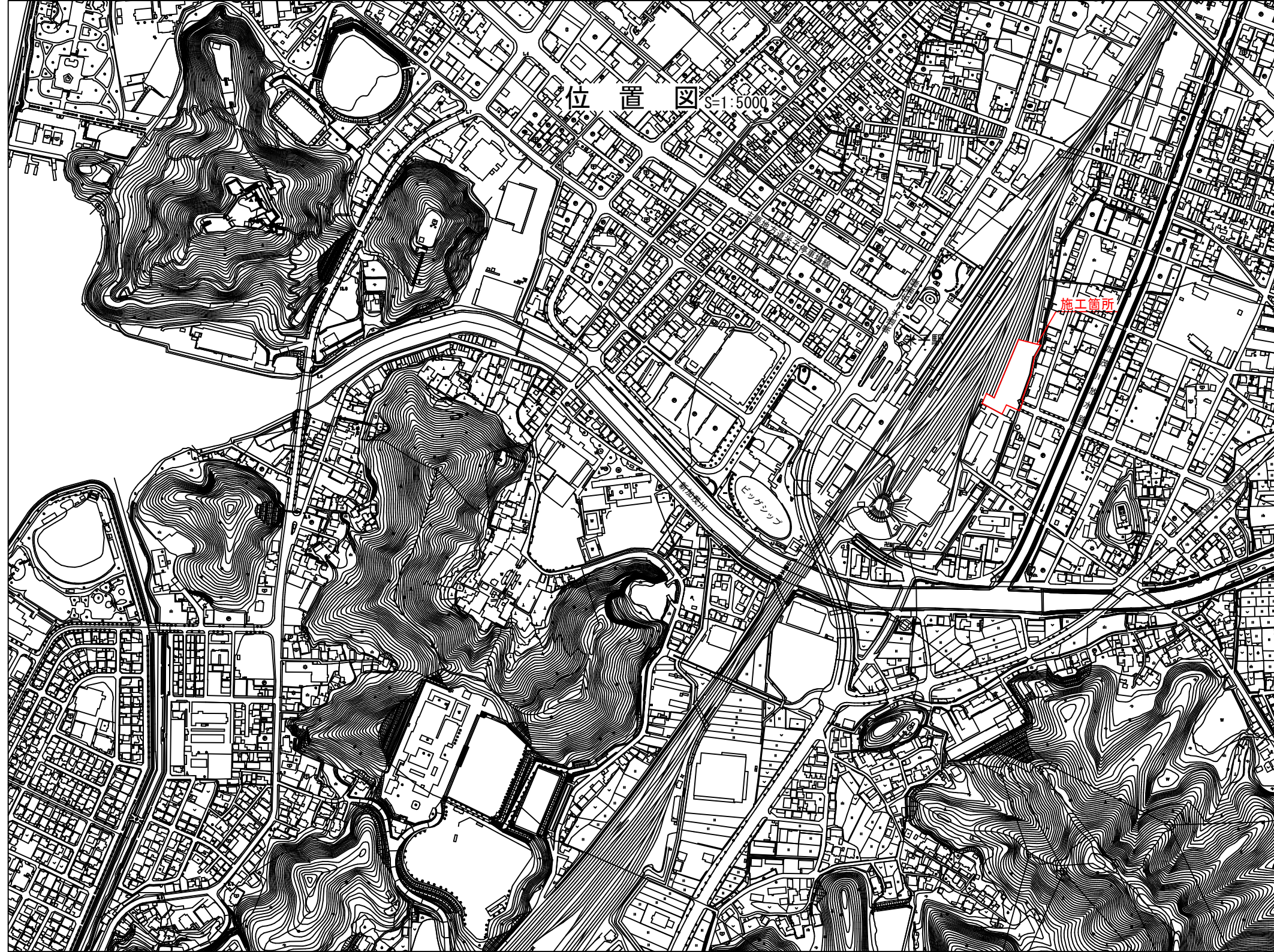


〔2〕 該当者が発注者側の監督員等の場合



位置図 s=1:5000

施工箇所



設 計 数 量 総 括 表							
費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	備考
駅南造成							
	道路土工						
		掘削工	機械掘削	土砂	m ³	700	
		路床盛土工	路床盛土	流用土	m ³	140	
		路体盛土工	路体盛土	流用土	m ³	60	
		残土処理工	運搬処分		m ³	680	
	擁壁工						
		場所打擁壁工	1号小型擁壁		m	1	
	カルバート工						
		作業土工			式	1	
		プレキャスト カルバート工	ボックスカルバート	B700×H1100	m	24	
			端部翼壁工		箇所	1	
	排水構造物工						
		作業土工			式	1	
		側溝工	導水ブロック	標準型、碎石あり	m	139	
				標準型、碎石なし	m	28	
				乗入れ型、碎石なし	m	8	
				切下げフラット型 碎石あり	m	35	
				切下げテーパ型 碎石あり	m	1	
				切下げフラット型 碎石なし	m	14	
				点検口、碎石あり	箇所	8	
				点検口、碎石なし	箇所	3	
			縦断用 自由勾配側溝	FSL-B400-H1000	m	35	
			縦断用 自由勾配側溝	FSL-B400-H1100	m	12	
			横断用 自由勾配側溝	FSC-B400-H1000	m	4	
			泥溜用 自由勾配側溝	FS-B400-H1200	m	6	
			円形側溝	縦断用 D300	m	49	

設計数量総括表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	備 考
				横断用 D300	m	35	
		管渠工	塩ビ管	VPφ200	m	13	
			パイプカルバート	CP1-D600	m	8	
				CP1-D400	m	2	
		集水樹・マンホール工	1号集水樹	B600-L600-H1450	箇所	1	
			2号集水樹	B600-L800-H1300	箇所	1	
			導水ブロック	樹	箇所	1	
			導水ブロック	樹深型	箇所	1	
			円形側溝樹	D300用	箇所	2	
	付帯工						
		作業土工			式	1	
		管路工	トラフ内管路	PVφ50	m	279	
				PFφ22	m	331	
				PFφ28	m	39	
				FEPφ30	m	88	
				FEPφ40	m	93	
			埋設管路	PFφ22	m	294	
				PFφ28	m	3	
				FEPφ30	m	28	
				PVφ25	m	10	
				FEPφ100	m	286	
				HIVPφ100	m	35	
				異形管接続 HIVP-FEPφ100	箇所	2	
			挿管	G22	m	2	
				G28	m	1	
		付帯設備工	小型トラフ	B300, 直線部	m	79	
				B300, 曲線部	m	12	
			台付管	D250	m	12	
			1号ハンドホール	600型	箇所	2	

設計数量総括表

費目	工種	種別	細別	規格	単位	数量	備考
			2号ハンドホール	1000型	箇所	1	
			3号ハンドホール	1000-1500型	箇所	1	
			4-1号ハンドホール	1200-1600型	箇所	1	
			4-2号ハンドホール	1200-1600型	箇所	1	
			4-3号ハンドホール	1200-1600型	箇所	1	
			特殊樹	400型	箇所	1	
	路側工						
		縁石工	歩車道境界ブロック	A種、碎石有り	m	2	
			歩車道境界ブロック	B種、碎石有り	m	145	
			歩車道境界ブロック	B種、碎石無し	m	51	
	防護柵工						
		作業土工			式	1	
		防止柵工	目隠しフェンス	H4000	m	67	
			メッシュ フェンス	H1500	m	27	
			メッシュ フェンス	H2000	m	103	
			ガードパイプ	H1100	m	2	
	舗装工						
		車道舗装	表層	再生密粒度アスコン t=5cm	m ²	17	
			上層路盤	粒調碎石 M-30 t=10cm	m ²	17	
			下層路盤	再生クラッシャーラン RC-30 t=10cm	m ²	17	
	構造物撤去工						
		構造物取壊し工	舗装版切断	(t≦15cm)As	m	25	
			コンクリート 構造物取壊し	無筋構造物	m ³	44	
			コンクリート 構造物取壊し	鉄筋構造物	m ³	291	
			舗装版破碎	As (t=15cm以下)	m ²	590	
				Co (t=15cm以下)	m ²	1,300	

1 仕様書

この契約において仕様書とは、特に定めのない限り「鳥取県土木工事共通仕様書」をいう。

2 下請関係の合理化について

- (1) この契約に係る工事の的確な施工を確保するため、下請契約を締結しようとする場合は、「建設産業における生産システム合理化指針」及び「鳥取県建設工事における下請契約等適正化指針」の趣旨に則り、優良な専門工事業者の選定、合理的な下請契約の締結、代金支払等の適正な履行、適正な施工体制の確立、下請における雇用管理等の指導等を行い本指針の遵守に努めること。
- (2) 中小建設業者に対する取引条件の適正化及び資金繰りの安定化等に資するため、元請業者は下請業者に対して、発注者から受取った前払金の下請業者への支払い、下請代金における現金比率の改善、手形期間の短縮等、下請代金支払の適正化について配慮すること。
- (3) 請負者は、下請契約を締結した場合は、施工体制台帳及び施工体系図を発注者に速やかに提出しなければならない。また、当該施工体制台帳及び施工体系図下に変更があったときは、変更が生じた日から20日以内（完成時においては、完成通知書の提出時）に変更後の書類を提出しなければならない。
- (4) 工事の一部を第三者に請け負わせる場合、又は工事に伴う交通誘導等の業務を第三者に委託する場合には、市内及び県内業者（以下「市内業者等」という。）との契約に努めること（優先順位は市内、県内の順位とする）。ただし、技術的に施工又は対応できる市内業者等がない工事等を請け負わせ又は業務を委託する場合、あるいは市内業者等で施工できても工程的に間に合わない等、特段の理由がある場合は、この限りでない。

3 建設資材等について

- (1) 工事に使用する資材については適法に生産されたものとする。
- (2) この契約に係る建設資材納入業者との契約に当たっては、当該業者の利益を不当に害しないよう公正な取引を確保するよう努めること。
- (3) 工事に使用する資材については、「県土整備部リサイクル製品使用基準」に基づき、リサイクル製品を積極的に活用すること。
- (4) リサイクル製品以外の工事に要する資材の使用順位は、次のとおりとする。
 - ① 市内産の資材がある場合は、市内産の資材の使用に努めること。ない場合は、県内産について同様の取り扱いとする。
 - ② 県外産の資材を使用する場合は、市内に本社又は営業所、支店等を有する販売業者（以下「市内販売業者」という。）から購入した資材の使用に努めること。市内販売業者がないときは、県内販売業者について同様の取り扱いとする。ただし、当該資材について市内販売業者又は県内販売業者がない場合は、この限りでない。

4 工事の安全確保について

この契約に係る工事の施工に当たっては、労働安全衛生法、労働安全衛生規則等を遵守し、労働災害の防止に努め、また工事中の交通事故防止について、特に留意すること。

5 建設機械の使用について

- (1) 標準操作方式建設機械を使用するよう努めること。
- (2) 施工現場及びその周辺の環境改善を図るため、低騒音型・低振動型の建設機械を使用するよう努めること。
- (3) 排ガス対策型建設機械の使用については、排ガス対策型建設機械の使用基準について（平成17年11月15日付第200500080172号県土整備部長通知）によること。

6 団体加入車の使用促進について

「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体の設立状況を踏まえ、同団体への加入車の使用を促進するよう努めること。

7 ダンプトラック等による運搬について

- (1) 積載重量制限を超えて工事用資機材等を積み込まず、また積み込ませないようにすること。
- (2) さし柵装着車、不表示車等による違法運行は行わず、また行わせないようにすること。
- (3) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から工事用資機材等の引渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。
- (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし柵装着車、不表示車等による違法運行を行っている場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
- (5) 建設副産物の処理及び工事用資機材等の搬入・搬出等に当たって、下請事業者及び工事用資機材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- (6) 過積載を行っている資材納入業者から資材を購入しないこと。
- (7) 産業廃棄物の運搬車については、車体の外側に、環境省令で定めるところにより、産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車である旨その他の事項を見やすいように表示し、かつ、当該運搬車に環境省令で定める書面を備え付けること。また、産業廃棄物処理業者に委託して産業廃棄物を運搬する場合、この表示、備え付けを行わせること。
- (8) 以上のことにつき、元請建設業者は下請建設業者を十分指導すること。

8 不正軽油使用の禁止について

工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む）並びに建設機械等の燃料として、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を使用しないこと。

9 建設業退職金共済制度への加入等

- (1) 建設業者は、建設業退職金共済制度（以下「建退共」という。）に加入すると共に、その建退共の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。ただし、下請けを含むすべての労働者が、中小企業退職金共済制度、清酒製造業退職金共済制度、林業退職金制度のいずれかに既に加入済みで、建退共に加入することができないと認められる場合は、この限りでない。
- (2) 建設業者が下請契約を締結する際は、下請業者に対してこの制度の趣旨を説明し、原則として証紙を下請の延労働者数に応じて現物交付することにより、下請業者の建退共加入及び証紙の貼付を促進すること。なお、現物を交付することができない場合は、掛金相当額を下請代金中に算入することとし、契約書等に明記すること。
- (3) 請負業者は、工事現場に「建設業退職金共済制度適用事業主工事現場」の標識を掲示すること。

10 建設業法の遵守について

- (1) 建設業法（昭和24年法律第100号）に違反する一括下請その他不適切な形態の下請契約を締結しないこと。
- (2) 建設業法第26条の規定により、請負業者が工事現場ごとに設置しなければならない専任の主任技術者または、専任の監理技術者については、適切な資格、技術力を有する者（工事現場に常駐して専らその職務に従事するもので、請負業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にある者に限る。）を配置すること。
- (3) 請負業者が工事現場ごとに置かなければならない専任の監理技術者は、1級施工管理技士等の国家資格者等で監理技術者資格者証の交付を受けている者を配置すること。この場合において、発注者から請求があったときは監理技術者資格者証を提示すること。
- (4) 建設業法第40条の規定により、請負業者は建設現場ごとに「建設業の許可票」を掲示すること。
- (5) 上記のほか、建設業法等に抵触する行為は行わないこと。

11 労働基準法の遵守

この契約に係る工事の施工に当っては、労働基準法等の趣旨に則り法定労働時間週40時間を遵守すること。

12 建設業からの暴力団排除の徹底について

- (1) 工事の施工に際し、暴力団等の構成員又はこれに準ずる者から不当な要求や妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合は、監督員に速やかにその旨を報告するとともに、警察に届出を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2) この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに監督員に協議すること。

13 現場代理人、追加技術者、主任技術者及び監理技術者の雇用関係について

- (1) 工事現場に配置する技術者等（技術者等とは、現場代理人、追加技術者、主任技術者、監理技術者及び技能士をいう。）は、所属建設業者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあるものでなければならない。
- (2) 直接的雇用とは、技術者等とその所属建設業者との間に第三者の介入する余地のない雇用に関する一定の権利義務関係（賃金、労働時間、雇用及び権利構成）が存在することをいい、恒常的な雇用関係とは一定の期間（3か月以上）にわたり当該建設業者に勤務し、日々一定時間以上職務に従事することが担保されていることに加え、技術者等と所属建設業者が双方の持つ技術力を熟知し、建設業者が責任を持って技術者等を工事現場に配置できるとともに技術者等が建設業者が有する技術力を、十分かつ円滑に活用して工事の監理等の業務を行うことができることをいう。

14 労働者の福祉向上について

- (1) 建設労働者の適切な賃金水準の確保、社会保険等（雇用保険、健康保険及び厚生年金保険）への加入など、労働者の福祉向上に努めること。なお、健康保険等の適用を受けない建設労働者に対しても、国民健康保険等に参加するよう指導に努めること。
- (2) 下請契約の締結に際しては、下請業者へ法定福利費を内訳明示した見積書（標準見積書という。）の提示を求め、提示された場合にはこれを尊重するとともに、社会保険等の法定福利費などの必要経費を適切に考慮するように努めること。

15 産業廃棄物の処理に係る税について

この契約に係る工事で発生する建設廃棄物のうち、鳥取県、岡山県、広島県等の産業廃棄物の処理に係る税条例を施行している自治体内に搬入する建設廃棄物については、産業廃棄物の処理に係る税が課税される場合があるので適切に処理すること。

16 コンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比

コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5パーセント以下、無筋コンクリートについては6.0パーセント以下とする。

17 消費税及び地方消費税の適正転嫁等について

下請契約及び資材購入等において、消費税の円滑かつ適正な転嫁の確保のための消費税の転嫁を阻害する行為の是正等に関する特別措置法（平成25年法律第41号）で禁止された転嫁拒否等行為を行わないなど、適切な対応を行うこと。

18 その他

- (1) 工事施工管理資料等については簡略化名称を使用できることとする。ただし、略称については、発注者と協議の上重複しないよう注意し、また、わかりやすく簡単なものとする。
- (2) コンクリート構造物については、「コンクリート構造物ひびわれ抑制対策指針」に基づき施工するものとする。
- (3) 建設副産物のリサイクル、熱帯木材型枠の削減等、環境対策について積極的に取り組むこと。
- (4) 労務費については、法定労働時間週40時間を考慮したものとしている。
- (5) 請負業者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負業者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）においても同様の義務を負う旨を定めなければならない。

- (6) ほ装単独工事（アスファルト）においては、表層工、基層工及び上層路盤工を自社施工しなければならない。ただし、表層工、基層工及び上層路盤工であっても特殊工法部分についてはこの限りでない。
- (7) 契約書第 25 条第 5 項及び第 6 項の対応については、鳥取県県土整備部「建設工事請負契約書第 25 条第 5 項の運用」、「賃金等の変動に対する工事請負契約書第 25 条第 6 項（インフレスライド条項）運用マニュアル」に基づき請求を行うこと。

現場説明書

令和4年1月6日改正
特記事項1

仕様書	本工事の施工に当たっては、契約日現在の次に掲げる仕様書等によること。 ・ <u>鳥取県土木工事共通仕様書</u> ・ <u>鳥取県土木工事施工管理基準</u> ・ _____	
工程	①（他工事等との調整） ②（部分完成、着工保留） ③（施工時間） ④（余裕期間設定工事） ⑤（鋼材の調達の遅れによる工期の延長） ⑥（週休2日モデル工事）	本工事については、<u>米子駅南北自由通路等整備事業に伴う自由通路工事及び駅南広場内下水道工事</u>と関連するので相互の連絡を密にすること。 _____については、_____まで_____（すること ・ しないこと）。 本工事の施工時間は、<u>8：30 ～ 17：00</u>とする。 本工事は、米子市余裕期間設定工事に係る実施要領（令和3年4月1日施行）の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。 この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____か月を見込んでいるが、請負者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。 本工事は、米子市「週休2日工事モデル工事」試行実施要領（土木工事）（令和3年4月1日施行）の対象工事である。モデル工事を選択する場合は、工事着手日までに発注者に協議をすること。選択後の取扱いについては、同要領の規定による。
用地関係	①（用地・物件等未処理）	本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合わせのうえ施工を行うこと。 なお、用地は<u>8月頃取得</u>予定である。
支障物件	①（埋設物等の事前調査） ②（支障物件） ③（立木の置き場所）	工事にかかる地下埋設物等の事前調査については、[<u>未調査・調査済み</u>]である。 _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込みである。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。
対公害	①（騒音振動対策）	「建設工事にともなう騒音振動対策技術指針」を順守すること。 本工事の施工に当っては、排出ガス対策型建設機械を使用すること。
安全対策	①（交通安全施設等）	一般交通等に支障を及ぼさないよう十分に注意して施工すること。 なお、交通整理の必要日数<u>14</u>日を見込んでいる。配置人員として、交通誘導員Aを合計_____名（交代要員[有・無]）、交通誘導員Bを合計<u>28</u>名（交代要員[有・無]）を見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。 警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。 交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4号に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。 なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置しているとみなす。
排水処理濁水	①（濁水処理）	工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。 なお、これにより難しい場合は別途協議すること。

現場説明書

特記事項2

建設副産物の処理	【建設発生土（処理）】 ①（他工事等流用） ②（建設技術センター） ③（民間残土受入地）	建設発生土は_____市・町・村_____地内の_____ 工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 建設発生土は_____市・町・村_____地内のセンター事業所に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり円をセンターに支払うこと。 建設発生土は_____米子_____市・町・村_____尾高_____地内の（有）小倉興産_____に運搬（片道運搬距離_____14.0_____km）するものとする。なお、処理費として、1 m³当たり_____1,330_____円を_____事業者_____に支払うこと。
	【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材（処理）】 ④（分別解体等） ⑤（他工事等流用） ⑥（再資源化施設への搬出） （施設の名称・受入れ費用） （受入れ時間帯） （受入れ条件） ⑦（木材市場等へ売却） ⑧（最終処理等） ⑨（産業廃棄物の処理に係る税）	コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。 なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。 コンクリート塊 1 m³当り_____6,839（無筋）、13,530（有筋）_____円 コンクリート塊 1 m²当り_____146（舗装）_____円 アスファルト塊 1 m²当り_____146（舗装）_____円 建設発生木材 1 m²当り_____円 〔Co 雑割材・_____〕は、_____市・町・村_____地内_____工事現場に運搬（片道運搬距離_____km）するものとする。 コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。 再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。 コンクリート塊 _____米子_____市・町・村_____夜見町_____地内の（有）大成商事_____（運搬距離_____7.1_____km）、費用 1 t 当り_____1,000_____円 アスファルト塊 _____米子_____市・町・村_____和田町_____地内の カネックス㈱_____（運搬距離_____12.1_____km）、費用 1 t 当り_____1,300_____円 建設発生木材 _____米子_____市・町・村_____夜見町_____地内の（有）大成商事_____（運搬距離_____7.1_____km）、費用 1 t 当り_____12,000_____円 その他（_____）_____市・町・村_____地内の_____（運搬距離_____km）、費用 1 m³当り_____円 8時～17時（平日） ア 路盤材、土砂、金属片等が、混入していないこと。 イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。 ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。 エ 2次公害発生のある恐れがある物質（廃油等）を含まないこと。 建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。 _____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出（片道運搬距離_____km）を想定し、その費用として 1 t 当たり_____円を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。 産業廃棄物処理業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとにマニフェストを発行するものとする。 産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を_____円見込んでいる。

現場説明書

特記事項3

建設副産物の使用	①（建設発生土の使用） ②（再生資材の使用）	_____ 工事から〔当該工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____ に使用する。 1) C 〇雑割材は、_____ 工事から運搬し、 使用箇所：_____ に使用する。 2) アスファルト・コンクリート切削殻は、_____ 工事から運搬し、 使用箇所：_____ に使用する。 3) ・再生クラッシャーラン〔規格：RC-30、RC-40〕は、 使用箇所：_____ 路盤、基礎碎石 _____ に使用する。 ・再生コンクリート砂〔規格：_____ 〕は、 使用箇所：_____ に使用する。 4) 再生加熱アスファルト混合物〔規格：再生密粒度 As〕は、 使用箇所：_____ 表層 _____ に使用する。 5) その他再生資材〔資材名：_____ 〕〔規格：_____ 〕は、 使用箇所：_____ に使用する。												
工事用道路														
仮設備														
その他	①（労災補償に必要な保険の付保） ②（現場環境改善）	本工事において、請負者は労災補償に必要な任意の保険契約を締結すること。なお、この労災補償に必要な保険契約の保険料を予定価格に反映している。 本工事は、現場環境改善（率計上分）実施対象工事と〔する・しない〕。 下表の内容のうち原則として各費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに1実施内容ずつ（いずれか1項目のみ2実施内容）の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容（目的に資するものであること）について監督員の確認を受けること。 1 内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。 <table><tr><th>計上費目</th><th>実施内容</th></tr><tr><td>仮設備関係</td><td>1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減</td></tr><tr><td>営繕関係</td><td>1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等</td></tr><tr><td>安全関係</td><td>1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策</td></tr><tr><td>地域連携</td><td>1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献</td></tr><tr><td>防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）</td><td>1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）</td></tr></table>	計上費目	実施内容	仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減	営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等	安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策	地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献	防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）
計上費目	実施内容													
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備、2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設、4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実、6. 環境負荷の低減													
営繕関係	1. 現場事務所の快適化（女性用更衣室の設置を含む） 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス（交通誘警備員待機室） 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等													
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ（電光式標識等） 2. 盗難防止対策（警報機等） 3. 避暑（熱中症予防）・防寒対策													
地域連携	1. 完成予想図、2. 工法説明図、3. 工事工程表 4. デザイン工事看板（各工事PR看板含む） 5. 見学会等の開催（イベント等の実施含む） 6. 見学所（インフォメーションセンター）の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等（地域行事等の経費を含む） 9. 社会貢献													
防災・危機管理関係（港湾・漁港事業）	1. 防災訓練（地震・台風等の自然災害に対する訓練）													

現 場 説 明 書

特記事項 4

その他	③（鉄道近接工事安全対策） ④（基礎地盤対策） ⑤（水道工事） ⑥（米子駅南北一体化事業調整会議）	鉄道敷に近接する作業については、十分注意して施工すること。なお、近接工事の必要日数は20日を見込んでいる。それに伴う、工事管理者を合計20名、列車見張員を合計20名見込んでいる。 本工事の基礎地盤対策については、付近の既存資料により計画しているため、施工に先立ち実施箇所で支持力の調査を行い、対策工の要否を確認すること。 本工事における水道工事の施工は、米子市水道局が指定した給水装置工事事業者（指定工事店）でなければならない。 JRが主催する米子駅南北一体化事業調整会議に出席し、工程等の調整を図ること。（月に1、2度程度）
------------	---	---

※明示する項目を_____部分に記入又は追記し、不要部分は——で削除して使用すること。

建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等(土木工事等)

分別解体等の計画等

工作物の構造 (解体工事のみ)		☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ その他()			
工事の種類		☐ 新築工事 ☐ 維持・修繕工事 ☐ 解体工事 ☐ 電気 ☐ 水道 ☐ ガス ☐ 下水道 ☐ 鉄道 ☐ 電話 ☒ その他(駅前広場造成工事)			
使用する特定建設資材の種類 (新築・維持・修繕工事のみ)		☒ コンクリート ☒ コンクリート及び鉄から成る建設資材 ☒ アスファルト・コンクリート ☐ 木材			
工作物に関する調査の結果	工作物の状況	築年数 年 その他()			
	周辺状況	周辺にある施設 ☒ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約 0.0 m その他()			
工作物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容			工作物に関する調査の結果	工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所		作業場所 ☒ 十分 ☐ 不十分 その他()		
	搬出経路		障害物 ☐ 有() ☒ 無 前面道路の幅員 約 6 m 通学路 ☒ 有 ☐ 無 その他()		
	特定建設資材への付着物(解体・維持・修繕工事のみ)		☐ 有 () ☐ 無		
	他法令関係 (解体・維持・修繕工事のみ)	石綿 (大気汚染防止法・安全衛生法石綿則)	☐ 有 特定建設資材への付着(☐ 有 ☐ 無) ☐ 無		
	その他				
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程		作業内容	分別解体等の方法 (解体工事のみ)	
	①仮設		仮設工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	②土工		土工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	③基礎		基礎工事 ☐ 有 ☒ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	④本体構造		本体構造の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑤本体付属品		本体付属品の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
	⑥その他 (構造物撤去工)		その他の工事 ☒ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序 (解体工事のみ)		☐ 上の工程における⑤→④→③の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()			
工作物に用いられた建設資材の量の見込み(解体工事のみ)		トン			
廃棄物発生見込み	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み(全工事)並びに特定建設資材が使用される工作物の部分(新築・維持・修繕工事のみ)及び特定建設資材廃棄物の発生が見込まれる工作物の部分(維持・修繕・解体工事のみ)		種類	量の見込み	使用する部分又は発生が見込まれる部分(注)
			☒ コンクリート塊	1,198 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
			☒ アスファルト・コンクリート塊	44 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
			☒ 建設発生木材	20 トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☒ ⑥
			(注) ①仮設 ②土工 ③基礎 ④本体構造 ⑤本体付属品 ⑥その他		
備考					

□欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。

総括情報表

頁0-0001

事務所 設計書名 変更回数 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 ファイル名	54 米子市 実施設計書 当初 04-*****-0422 -40 0 1 実施単価 30 米子市 0-04.07.10(0) 1 公共				
	当 世 代	前 世 代		当 世 代	前 世 代
工種 現場環境改善費 施工地域 契約保証区分 豪雪割増 工期算定区分 週休二日補正係数	04 道路改良 02 率計上する（市街地） 11 市街地(DID補正) 01 金銭保証（0.04%） 01 豪雪割増あり 02 算出しない 01 週休二日補正なし				

本工事費 内訳書

頁0-0002

	費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費							X1000
造成							Y1E01 (レベル1)
				一式			
道路土工							Y1E0101 (レベル2)
				一式			
掘削工							Y1E010101 (レベル3)
				一式			
掘削							Y1E01010101 (レベル4)
				m3			
掘削 土砂 オープンカット 押土無し 障害無し 5,000m3未満							SPK21040001 0 A=1, B=1, D=2, E=1, F=3
		700		m3			単第0-0059 表 040710
路体盛土工							Y1E010103 (レベル3)
				一式			
路体(築堤)盛土							Y1E01010301 (レベル4)
				m3			
路体(築堤)盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満							SPK21040004 0 A=2
		60		m3			単第0-0060 表 040710

本工事費 内訳書

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
路床盛土工					Y1E010105 (レベル3)
		一式			
路床盛土					Y1E01010501 (レベル4)
		m3			
路床盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満					SPK21040005 0 A=2
	140	m3			単第0-0061 表 040710
残土処理工					Y1E010110 (レベル3)
		一式			
土砂等運搬					Y1E01011002 (レベル4)
		m3			
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離14.0km以下(11.0km超)					SPK21040002 0 A=1, B=1, C=1, D=2, E=28
	680	m3			単第0-0062 表 040710
残土等処分					Y1E01011003 (レベル4)
		m3			
投棄料					#0041 C=投棄料
		一式			
建設残土処分料 地山					TTV0060 0
	680	m 3			040710

本工事費 内訳書

頁0-0004

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
擁壁工						Y1E0106 (レベル2)
			一式			
場所打擁壁工(構造物単位)						Y1E010605 (レベル3)
			一式			
小型擁壁						Y1E01060501 (レベル4)
			m			
1号小型擁壁 H=585						G0006
	1		m			科目内訳0001号表
カルバート工						Y1E0108 (レベル2)
			一式			
作業土工						Y1E010801 (レベル3)
	1		一式			明第0001 表
プレキャストカルバート工						Y1E010807 (レベル3)
			一式			
プレキャストボックス						Y1E01080701 (レベル4)
			m			
ボックスカルバート B700-H1100 L=2000						G0007
	24		m			科目内訳0002号表

本工事費 内訳書

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
端部翼壁工					G1007
	1	箇所			科目内訳0003号表
排水構造物工					Y1E0109 (レベル2)
		一式			
作業土工					Y1E010901 (レベル3)
	1	一式			明第0002 表
側溝工					Y1E010903 (レベル3)
		一式			
自由勾配側溝					Y1E01090304 (レベル4)
		m			
自由勾配側溝 自由勾配側溝(各種) 1000<重量≤2000 縦断用 B400-H1000	35	m			SDT00015 0 A=1, B=50, C=21, D=2, E=1, F=1, G=2, I=0. 81, J=1 , L=0. 626, M=1 単第0-0066 表 040710
自由勾配側溝 自由勾配側溝(各種) 1000<重量≤2000 縦断用 B400-H1100	12	m			SDT00015 0 A=1, B=50, C=22, D=2, E=1, F=1, G=2, I=0. 81, J=1 , L=0. 626, M=1 単第0-0067 表 040710
自由勾配側溝 自由勾配側溝(各種) 1000<重量≤2000 横断用 B400-H1000	4	m			SDT00015 0 A=1, B=50, C=23, D=2, E=1, F=1, G=2, I=0. 83, J=1 , L=0. 93, M=1 単第0-0068 表 040710
自由勾配側溝 自由勾配側溝(各種) 1000<重量≤2000 縦断泥溜用 B400-H1200	6	m			SDT00015 0 A=1, B=50, C=24, D=2, E=1, F=1, G=2, I=0. 81, J=1 , L=0. 925, M=1 単第0-0069 表 040710

本工事費 内訳書

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
側溝蓋					Y1E01090305 (レベル4)
		枚			
蓋版 蓋版(各種) 40<重量≤170					SDT00017 0 A=1, B=9, D=31, E=2, F=1, G=1
	47	枚			単第0-0070 表 040710
蓋版 蓋版(各種) 40<重量≤170					SDT00017 0 A=1, B=9, D=32, E=2, F=1, G=1
	2	枚			単第0-0071 表 040710
蓋版 蓋版(各種) 40≥重量					SDT00017 0 A=1, B=9, D=33, E=1, F=1, G=1
	6	枚			単第0-0072 表 040710
円形側溝					Y4999 (レベル4)
		m			
円形側溝 縦断用 D300					G1004
	49	m			科目内訳0004号表
円形側溝 横断用 D300					G1005
	35	m			科目内訳0005号表
導水ブロック					Y4999 (レベル4)
		m			
導水ブロック 標準型 F型-200					G2001
	139	m			科目内訳0006号表

本工事費 内訳書

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
導水ブロック 標準型 F型-200 砕石無	28	m			G2009 科目内訳0007号表
導水ブロック 乗入れ型 F型-200 砕石無	8	m			G2010 科目内訳0008号表
導水ブロック 切下げフラット型 F型-200	35	m			G2003 科目内訳0009号表
導水ブロック 切下げテーパー型 F型-200	1	m			G2004 科目内訳0010号表
導水ブロック 切下げフラット型 F型-200 砕石無	14	m			G2011 科目内訳0011号表
導水ブロック 点検口 F型-200	8	箇所			G2005 科目内訳0012号表
導水ブロック 点検口 F型-200 砕石無	3	箇所			G2105 科目内訳0013号表
管渠工		一式			Y1E010904 (レベル3)
ヒューム管(B形管)		m			Y1E01090402 (レベル4)

本工事費 内訳書

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ヒューム管(B形管) 据付 管径600mm 固定基礎90° 巻き 基礎碎石有り 外圧管1種	8	m				SPK21040078 0 A=1, B=8, C=1, D=1, E=1, G=1, I=1, J=1 単第0-0073 表 040710
ヒューム管(B形管) 据付 管径400mm 固定基礎90° 巻き 基礎碎石有り 外圧管1種	2	m				SPK21040078 0 A=1, B=5, C=1, D=1, E=1, G=1, I=1, J=1 単第0-0074 表 040710
暗渠排水管		m				Y1E01090403 (レベ`ル4)
暗渠排水管 据付 直管 200~400mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径200mm	13	m				SPK21040080 0 A=1, B=1, C=2, D=53, G=1, I=1 単第0-0075 表 040710
集水桝・マンホール工		一式				Y1E010905 (レベ`ル3)
現場打ち集水桝		箇所				Y1E01090502 (レベ`ル4)
1号集水桝 B600-L600-H1450	1	箇所				G0009 科目内訳0014号表
2号集水桝 B600-L800-H1300	1	箇所				G0008 科目内訳0015号表
プレキャスト集水桝		箇所				Y1E01090504 (レベ`ル4)

本工事費 内訳書

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
導水ブロック樹 F型-200						G2006
	1		箇所			科目内訳0016号表
導水ブロック樹 F型-200 深型						G2106
	1		箇所			科目内訳0017号表
円形側溝樹 D300用						G1003
	2		箇所			科目内訳0018号表
付帯工						Y2999 (レベル2)
			一式			
作業土工						Y3999 (レベル3)
	1		一式			明第0003 表
管路工						Y3999 (レベル3)
			一式			
トラフ内管路						Y4999 (レベル4)
			m			
硬質塩化ビニル管 PV φ 50						V4013 0
	279		m			単第0-0076 表 040710
合成樹脂可とう電線管 PF φ 22						V4004 0
	331		m			単第0-0077 表 040710

本工事費 内訳書

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
合成樹脂可とう電線管 PF φ 28					V4009 0
	39	m			単第0-0078 表 040710
波付硬質合成樹脂管 FEP φ 30					V4006 0
	88	m			単第0-0079 表 040710
波付硬質合成樹脂管 FEP φ 40					V4005 0
	93	m			単第0-0080 表 040710
埋設管路					Y4999 (レベル4)
		m			
合成樹脂可とう電線管 PF φ 22					V4004 0
	294	m			単第0-0077 表 040710
合成樹脂可とう電線管 PF φ 28					V4009 0
	3	m			単第0-0078 表 040710
波付硬質合成樹脂管 FEP φ 30					V4006 0
	28	m			単第0-0079 表 040710
硬質塩化ビニル管 PV φ 25					V4007 0
	10	m			単第0-0081 表 040710
波付硬質合成樹脂管 FEP φ 100					V4008 0
	286	m			単第0-0082 表 040710

本工事費 内訳書

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 据付 直管 50～150mm 管材料(各種) HIVP管	35	m				SPK21040080 0 A=1, B=1, C=1, D=81, E=10, G=1, I=1 単第0-0083 表 040710
異形管 HIVP-FEP φ 100	2	箇所				T4012 0 040710
建設物価p578 厚鋼電線管 G22	2	m				V4014 0 単第0-0084 表 040710
厚鋼電線管 G28	1	m				V4015 0 単第0-0085 表 040710
付帯設備工		一式				Y3999 (レベル3)
小型トラフ		m				Y4999 (レベル4)
配線用小型トラフ 直線部 B300-H225	79	m				G4001 科目内訳0019号表
配線用小型トラフ 曲線部 B300-H225	12	m				G4002 科目内訳0020号表
台付管 D250	12	m				G4004 科目内訳0021号表

本工事費 内訳書

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
1号ハンドホール 600型						G4005
	2		箇所			科目内訳0022号表
2号ハンドホール 1000型						G4006
	1		箇所			科目内訳0023号表
3号ハンドホール 1000-1500型						G4007
	1		箇所			科目内訳0024号表
4-1号ハンドホール 1200-1600型						G4008
	1		箇所			科目内訳0025号表
4-2号ハンドホール 1200-1600型						G4009
	1		箇所			科目内訳0026号表
4-3号ハンドホール 1200-1600型						G4010
	1		箇所			科目内訳0027号表
特殊桧 400型						G4003
	1		箇所			科目内訳0028号表
構造物撤去工						Y1E0112 (レベル2)
			一式			
防護柵撤去工						Y1E011201 (レベル3)
			一式			

本工事費 内訳書

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防護柵撤去(ガードレール)					Y1E01120101 (レベル4)
		m			
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 コンクリート建込 A, B, C(支柱間隔2m)	10	m			SS000127 0 A=2, B=6, C=1, D=1 単第0-0086 表 040710
縁石撤去工					Y1E011213 (レベル3)
		一式			
歩車道境界ブロック撤去、復旧					Y1E01121301 (レベル4)
		m			
歩車道境界ブロック撤去、復旧	4	m			G5003 科目内訳0029号表
構造物取壊し工					Y1E011206 (レベル3)
		一式			
コンクリート構造物取壊し					Y1E01120601 (レベル4)
		m3			
構造物とりこわし工(無筋構造物) 機械施工	44	m3			SDT00031 0 A=1, B=1, C=1, D=1 単第0-0087 表 040710
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	291	m3			SDT00033 0 A=1, B=1, C=1, D=1 単第0-0088 表 040710

本工事費 内訳書

頁0-0014

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断					Y1E01120602 (レベル4)
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	25	m			SPK21040302 0 A=1, B=1, E=1 単第0-0089 表 040710
舗装版破碎					Y1E01120603 (レベル4)
		m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	590	m2			SPK21040301 0 A=1, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1 単第0-0090 表 040710
舗装版破碎 コンクリート舗装版 障害無し 舗装版厚15cm以下	1,300	m2			SPK21040301 0 A=2, B=1, C=1, D=1, F=1, G=1 単第0-0091 表 040710
運搬処理工					Y1E011216 (レベル3)
		一式			
殻運搬					Y1E01121601 (レベル4)
		m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	44	m3			SPK21040138 0 A=1, B=1, C=2, D=34, E=1 単第0-0092 表 040710
殻運搬 Co(鉄筋)構造物とりこわし DID区間有り 運搬距離8.0km以下(5.7km超)	291	m3			SPK21040138 0 A=2, B=1, C=2, D=34, E=1 単第0-0093 表 040710

本工事費 内訳書

頁0-0015

費目・工種・施工名称など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
殻運搬 舗装版破碎 (Co) DID区間有り 運搬距離10.5km以下(6.0km超)	156	m3			SPK21040138 0 A=3, B=3, C=2, D=42, E=1 単第0-0094 表 040710
殻運搬 舗装版破碎 (As) DID区間有り 運搬距離19.5km以下(10.5km超)	18	m3			SPK21040138 0 A=3, B=3, C=2, D=57, E=1 単第0-0095 表 040710
殻処分		m3			Y1E01121602 (レベル4)
スクラップ 鉄くず ヘビー H1	42	t			TTU0052 0 040710
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
処分料 コンクリート殻 (無筋)	103	t			TTV0060 0 040710
処分料 コンクリート殻 (鉄筋)	728	t			TTV0060 0 040710
処分料 コンクリート殻 (舗装)	367	t			TTV0060 0 040710
処分料 アスファルト殻	42	t			TTV0060 0 040710

本工事費 内訳書

頁0-0016

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分料 枕木						TTV0060 0
	20	t				040710
現場発生品運搬			回			Y1E01121603 (レベル4)
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付4t級2.9t吊 片道運搬距離9.0km以下(5.0km超) 鉄	15	回				SPK21040409 0 A=2, B=3, C=10 単第0-0096 表 040710
現場発生品・支給品運搬 クレーン装置付4t級2.9t吊 片道運搬距離9.0km以下(5.0km超) 枕木	7	回				SPK21040409 0 A=2, B=3, C=10 単第0-0096 表 040710
付帯施設工			一式			Y2999 (レベル2)
下水道工	1	一式				Y3999 (レベル3) 明第0004 表
上水道工	1	一式				Y3999 (レベル3) 明第0005 表
仮設工	1	一式				Y1E0115 (レベル2) 明第0006 表
整備			一式			Y1E02 (レベル1)

本工事費 内訳書

頁0-0017

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装工							Y1E0204 (レベル2)
				一式			
アスファルト舗装工							Y1E020404 (レベル3)
				一式			
下層路盤							Y1E02040402 (レベル4)
				m2			
下層路盤 (車道部) 全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工 RC-30							SPK21040226 0 A=100, B=3, D=1
		17		m2			単第0-0122 表 040710
上層路盤							Y1E02040404 (レベル4)
				m2			
上層路盤 (車道部) 全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工 M-30							SPK21040228 0 A=100, B=2, D=1
		17		m2			単第0-0123 表 040710
表層							Y1E02040410 (レベル4)
				m2			
表層 (車道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚 5 0 mm							SPK21040237 0 A=1, B=50, C=6, E=2, G=1, H=1, I=1
		17		m2			単第0-0124 表 040710
路側工							Y1E0206 (レベル2)
				一式			

本工事費 内訳書

頁0-0018

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
縁石工						Y1E020603 (レベル3)
			一式			
歩車道境界ブロック						Y1E02060301 (レベル4)
			m			
歩車道境界ブロック A種(150/170×200×600) 片斜片面R 設置 RC-40	2		m			SPK21040281 0 A=1, B=1, E=1, F=4 単第0-0125 表 040710
歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) 片斜片面R 設置 RC-40	145		m			SPK21040281 0 A=1, B=2, E=1, F=4 単第0-0126 表 040710
歩車道境界ブロック B種(180/205×250×600) 片斜片面R 設置 基礎碎石無し	51		m			SPK21040281 0 A=1, B=2, E=2, F=4 単第0-0127 表 040710
防護柵工						Y1E0208 (レベル2)
			一式			
作業土工	1		一式			Y3999 (レベル3) 明第0007 表
防止柵工						Y1E020802 (レベル3)
			一式			
金網・支柱(立入防止柵)						Y1E02080202 (レベル4)
			m			

本工事費 内訳書

頁0-0019

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
目隠しフェンス 連続基礎 H-4000						G3001
	67	m				科目内訳0033号表
メッシュフェンス 単独基礎 H-1500						G3002
	27	m				科目内訳0034号表
メッシュフェンス 単独基礎 H-2000						G3003
	103	m				科目内訳0035号表
転落(横断)防止柵						Y1E02080205 (レベル4)
		m				
横断・転落防止柵 コンクリート建込 ビーム式・パネル式 [規]100m未満 転落防止柵-標準品-4段ビーム型, 白色						SS000145 0 A=1, B=8, D=2, F=1
	2	m				単第0-0128 表 040710
＊＊直接工事費＊＊						
運搬費						Z0004
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 2 km 製品長 12m以内						S1000007 0 A=2, B=1, C=1, D=1, E=6, F=1, H=1, J=1, L=1
	1	一式				単第0-0129 表 040710
技術管理費						Z0006

本工事費 内訳書

頁0-0020

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
平板載荷試験 100kN以内						W0001
建設物価p868	1		箇所			
安全費						Z0009
工事管理者						R01015 0
見積り	20		人			040710
列車見張員						R01016 0
見積り	20		人			040710
現場環境改善費						Z0012
共通仮設費						
** 共通仮設費計 **						
** 純工事費 **						
現場管理費						

本工事費 内訳書

頁0-0021

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価						
一般管理費率分						
契約保証費						
一般管理費計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費計						

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り					Y1E01080102 (レベル4)
		m3			
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し					SPK21040015 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=1
	120	m3			単第0-0063 表
埋戻し					Y1E01080103 (レベル4)
		m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満					SPK21040019 0 A=3, D=1
	50	m3			単第0-0064 表
*** 単位当たり ***					
	1	式			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘り					Y1E01090102 (レベル4)
		m3			
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し					SPK21040015 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=1
	270	m3			単第0-0063 表
埋戻し					Y1E01090103 (レベル4)
		m3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満					SPK21040019 0 A=3, D=1
	120	m3			単第0-0064 表
埋戻し 最大埋戻幅1m未満					SPK21040019 0 A=4, D=1
	60	m3			単第0-0065 表
*** 単位当たり ***					
	1	式			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘					Y4999 (レベル4)
		m 3			
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し					SPK21040015 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=1
	160	m3			単第0-0063 表
埋戻し					Y4999 (レベル4)
		m 3			
埋戻し 最大埋戻幅1m以上4m未満					SPK21040019 0 A=3, D=1
	50	m3			単第0-0064 表
埋戻し 最大埋戻幅1m未満					SPK21040019 0 A=4, D=1
	60	m3			単第0-0065 表
*** 単位当たり ***					
	1	式			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路土工					Y4999 (レベル4)
		一式			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK21040015 0 A=1, B=5, E=1 単第0-0097 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模)	20	m3			SPK21040019 0 A=5, B=1, D=1 単第0-0098 表
購入土 C B R ≥ 1 2	20	m 3			TTM0052 0
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間有り 距離17.0km以下(12.0km超)	20	m3			SPK21040002 0 A=2, B=5, C=1, D=2, F=53 単第0-0099 表
投棄料		一式			#0041 C=投棄料
建設残土処分料 地山	20	m 3			TTV0060 0
取付管およびます設置工		一式			Y4999 (レベル4)
取付管およびます設置	1	箇所			G9004 科目内訳0030号表

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** 単位当たり ***					
	1	式			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路土工						Y4999 (レベル4)
			一式			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)						SPK21040015 0 A=1, B=5, E=1
	30	m3				単第0-0097 表
埋戻し 土砂 上記以外(小規模) 発生土						SPK21040019 0 A=5, B=1, D=1
	30	m3				単第0-0098 表
舗装撤去工						Y4999 (レベル4)
			一式			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下						SPK21040302 0 A=1, B=1, E=1
	55	m				単第0-0089 表
舗装版破碎積込(小規模土工)						SPK21040018 0 A=1
	15	m2				単第0-0100 表
運搬処理工						Y4999 (レベル4)
			一式			
殻運搬 舗装版破碎 (As) DID区間有り 運搬距離15.0km以下(11.0km超)						SPK21040138 0 A=3, B=4, C=2, D=51, E=1
	1	m3				単第0-0101 表
投棄料						#0041 C=投棄料
			一式			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分料 アスファルト殻						TTV0060 0
	2		t			
舗装復旧工						Y4999 (レベル4)
			一式			
下層路盤(車道部) 全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工 RC-30						SPK21040226 0 A=100, B=3, D=1
	2		m2			単第0-0102 表
上層路盤(車道部) 全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工 M-30						SPK21040228 0 A=100, B=2, D=1
	2		m2			単第0-0103 表
表層(車道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚 5 0 mm						SPK21040237 0 A=1, B=50, C=6, E=2, G=1, H=1, I=1
	2		m2			単第0-0104 表
路盤(歩道部) 全仕上り厚 1 0 0 mm 1層施工 RC-30						SPK21040226 0 A=100, B=3, D=1
	14		m2			単第0-0105 表
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚 3 0 mm						SPK21040237 0 A=1, B=30, C=7, E=2, G=1, H=1, I=1
	14		m2			単第0-0106 表
上水道布設工						Y4999 (レベル4)
			一式			
管布設						G9001
	1		一式			科目内訳0031号表

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
継手					G9002
	1	一式			科目内訳0032号表
不断水バルブ設置工					Y4999 (レベル4)
		一式			
不断水バルブ設置 φ75×φ75					V9006 0
	1	箇所			単第0-0107 表
仕切弁ボックス設置 円形					V9007 0
	1	箇所			単第0-0108 表
水道事業実務必携p98 消火栓設置工					Y4999 (レベル4)
		一式			
地下式消火栓設置 地下式単口 副弁含む					V9008 0
	1	箇所			単第0-0109 表
水道事業実務必携p97 消火栓ボックス設置 角形					V9014 0
	1	箇所			単第0-0111 表
水道事業実務必携p98 止水栓設置工					Y4999 (レベル4)
止水栓設置					V9015 0
	1	箇所			単第0-0112 表
水道事業実務必携p94					

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
止水栓ボックス設置 円形					V9016 0
水道事業実務必携p98	1	箇所			単第0-0113 表
*** 単位当たり ***	1	式			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事用道路工					Y1E011501 (レベル3)
		一式			
敷鉄板					Y1E01150104 (レベル4)
		m2			
敷鉄板設置					S1050041 0
	37	m2			単第0-0114 表
敷鉄板撤去					S1050043 0
	37	m2			単第0-0116 表
敷鉄板賃料 22×1524×3048, 802kg/枚 賃貸期間 1 8 0 日					S1050029 0 A=3, B=1, C=180, D=2
	8	枚			単第0-0117 表
水替工					Y1E011506 (レベル3)
		一式			
ポンプ排水					Y1E01150601 (レベル4)
		日			
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 作業時排水					S1050031 0 A=1, B=1
	10	日			単第0-0118 表
防護施設工					Y1E011516 (レベル3)
		一式			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮囲い					Y1E01151602 (レベル4)
		m			
仮囲い設置撤去工 丸パイプ土中打込み式 H=3m					S1032 0 A=1, B=100
	97	m			単第0-0121 表
交通管理工					Y1E011521 (レベル3)
		一式			
交通誘導警備員					Y1E01152101 (レベル4)
		人			
交通誘導警備員B					R0369 0
	28	人			1
*** 単位当たり ***					
	1	式			

工種明細書

工 種 ・ 施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
床掘					Y4999 (レベル4)
		m 3			
床掘り 土砂 平均施工幅1m以上2m未満 無し 障害無し					SPK21040015 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=1
	120	m3			単第0-0063 表
埋戻し					Y4999 (レベル4)
		m 3			
埋戻し 最大埋戻幅1m未満					SPK21040019 0 A=4, D=1
	80	m3			単第0-0065 表
*** 単位当たり ***					
	1	式			

1号小型擁壁

G0006

科目内訳表

科目内訳0001号表

頁0-0034

H=585

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
小型擁壁 擁壁平均高さ0.5m以上0.6m未満 18-8-40BB 基礎碎石無し	2.612	m3			SPK21040060 0 A=1, B=2, D=1, E=1, F=1, G=1 単第0-0001 表
差し筋 SD345 D13	7.960	k g			T1004 0
県単p2					
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

ボックスカルバート

G0007

科目内訳表

科目内訳0002号表

頁0-0035

B700-H1100 L=2000

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボックスカルバート 据付 0<B≤1.25_0<H≤1.25 ボックスカルバート(各種)	10	m			SPK21040079 0 A=1, B=3, C=1, D=45, E=5, F=3, G=2, H=1 単第0-0002 表
PC鋼より線 B種 φ12.7mm					T1003 0
県単p81	38.0	m			
アンカープレート φ12.7mm					T1002 0
建設物価p348	8	組			
ジオセルマットレス工 GN-200SP ボックスカルバートB700-H1100用 見積り	10	m			V1010 0 単第0-0003 表
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

科目内訳表

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.159	m3			SPK21040140 0 A=1, B=2, C=2, F=2, J=1, K=1 単第0-0009 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	1.565	m2			SPK21040142 0 A=1, B=1, C=1 単第0-0010 表
差し筋 SD345 D13 県単p2	1.294	k g			T1004 0
*** 単位当たり ***	1	箇所			

円形側溝

G1004

科目内訳表

科目内訳0004号表

頁0-0037

縦断用 D300		10		m	当り		
施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管（函）渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 円形側溝(各種) 基礎碎石有り							SPK21040082 0 A=1, B=1, C=4, D=88, E=1, F=1
		10		m			単第0-0011 表
*** 合計 ***							
		10		m			
*** 単位当たり ***							
		1		m			

円形側溝

G1005

科目内訳表

科目内訳0005号表

頁0-0038

横断用 D300		10		m	当り		
施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管（函）渠型側溝 据付 200mm以上300mm以下 円形側溝(各種) 基礎碎石有り							SPK21040082 0 A=1, B=1, C=4, D=89, E=1, F=1
	10		m				単第0-0012 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設							SPK21040140 0 A=1, B=3, C=2, F=2, H=2, J=1, K=1
	0.620		m3				単第0-0013 表
型枠 一般型枠 均しコンクリート							SPK21040142 0 A=1, B=5, C=1
	2.000		m2				単第0-0014 表
*** 合計 ***							
	10		m				
*** 単位当たり ***							
	1		m				

導水ブロック

G2001

科目内訳表

科目内訳0006号表

頁0-0039

10 m 当り

標準型 F型-200

[illegible]

導水ブロック

標準型 F型-200

砕石無

G2009

科目内訳表

科目内訳0007号表

頁0-0040

10 m 当り

施 工 名 称 な ど		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
導水ブロック 各種(1000超2000mm以下, 150以上550kg未満) 設置 基礎砕石無し							SPK21040281 0 A=1, B=16, C=51, D=100, E=2, F=4
		10		m			単第0-0015 表
*** 合計 ***							
		10		m			
*** 単位当たり ***							
		1		m			

導水ブロック

乗入れ型 F型-200

砕石無

G2010

科目内訳表

科目内訳0008号表

頁0-0041

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
導水ブロック 各種(600超1000mm以下, 50以上150kg未満) 設置 基礎砕石無し	10	m				SPK21040281 0 A=1, B=15, C=52, D=165, E=2, F=4 単第0-0017 表
*** 合計 ***	10	m				
*** 単位当たり ***	1	m				

導水ブロック

G2003

科目内訳表

科目内訳0009号表

頁0-0042

切下げフラット型 F型-200

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
導水ブロック 各種(600超1000mm以下, 50以上150kg未満) 設置 基礎碎石無し	10	m			SPK21040281 0 A=1, B=15, C=53, D=165, E=2, F=4 単第0-0018 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	3.5	m2			SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1 単第0-0016 表
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

導水ブロック

G2004

科目内訳表

科目内訳0010号表

頁0-0043

切下げテーパー型 F型-200

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
導水ブロック 各種(600超1000mm以下, 50以上150kg未満) 設置 基礎碎石無し	10	m			SPK21040281 0 A=1, B=15, C=54, D=165, E=2, F=4 単第0-0019 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	3.5	m2			SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1 単第0-0016 表
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

導水ブロック

切下げフラット型 F型-200

砕石無

G2011

科目内訳表

科目内訳0011号表

頁0-0044

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
導水ブロック 各種(600超1000mm以下, 50以上150kg未満) 設置 基礎砕石無し	10	m				SPK21040281 0 A=1, B=15, C=53, D=165, E=2, F=4 単第0-0018 表
*** 合計 ***	10	m				
*** 単位当たり ***	1	m				

導水ブロック

G2005

科目内訳表

科目内訳0012号表

頁0-0045

点検口 F型-200						1	箇所	当り
施 工 名 称 な ど						備 考		
導水ブロック点検口 据付 基礎碎石無し 製品質量(kg/基)80kgを超え200kg以下						SPK21040083 0 A=1, B=2, C=2, D=1 単第0-0020 表		
導水ブロック 点検口 F型-200 L600 点検蓋含む 見積り						T2003 0		
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40						SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1 単第0-0016 表		
*** 単位当たり ***								

導水ブロック

G2105

科目内訳表

科目内訳0013号表

頁0-0046

点検口 F型-200

碎石無

1 箇所 当り

[illegible]

1 号集水桝

G0009

科目内訳表

科目内訳0014号表

頁0-0047

B600-L600-H1450

1 箇所 当り

施 工 名 称 など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打ち集水桝・街渠桝(本体) 18-8-40BB 0.97m3を超え1.03m3以下	1	箇所			SPK21040093 0 A=3, C=26, D=1, E=1, F=1 単第0-0021 表
足掛金具 W-250					T2005 0
見積り	3	個			
蓋版 蓋版(各種) 40<重量≤170	1	枚			SDT00017 0 A=1, B=9, D=7, E=2, F=1, G=1 単第0-0022 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

2号集水桝

G0008

科目内訳表

科目内訳0015号表

頁0-0048

B600-L800-H1300

1箇所当り

施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
現場打ち集水桝・街渠桝(本体)						SPK21040093 0
18-8-40BB						A=3, C=26, D=1, E=1, F=1
0.97m3を超え1.03m3以下	1		箇所			単第0-0021 表
足掛金具						T2005 0
W-250						
見積り	3		個			
蓋版						SDT00017 0
蓋版(各種) 40<重量≤170						A=1, B=9, D=6, E=2, F=1, G=1
	1		枚			単第0-0023 表
*** 単位当たり ***						
	1		箇所			

導水ブロック柵

G2006

科目内訳表

科目内訳0016号表

頁0-0049

F型-200

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
導水ブロック柵 据付 基礎碎石無し 製品質量(kg/基)80kgを超え200kg以下	1	基			SPK21040083 0 A=1, B=2, C=2, D=1 単第0-0024 表
導水ブロック柵 F型-200用 上段ブロック L600 点検蓋含む 見積り	1	個			T2001 0
導水ブロック柵 F型-200用 下段ブロック L600 見積り	1	個			T2002 0
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	0.270	m2			SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1 単第0-0016 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

導水ブロック柵

G2106

科目内訳表

科目内訳0017号表

頁0-0050

F型-200 深型

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
導水ブロック柵 据付 基礎碎石無し 製品質量(kg/基)80kgを超え200kg以下	1	基			SPK21040083 0 A=1, B=2, C=2, D=1 単第0-0024 表
導水ブロック柵 F型-200用 上段ブロック L600 点検蓋含む 見積り	1	個			T2001 0
導水ブロック柵 F型-200用 下段ブロック L600 見積り	1	個			T2002 0
導水ブロック柵 F型-200用 調整ブロック L600 見積り	1	個			T2006 0
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	0.270	m2			SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1 単第0-0016 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

円形側溝枥

G1003

科目内訳表

科目内訳0018号表

頁0-0051

D300用

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プレキャスト集水枥 据付 基礎碎石無し 製品質量(kg/基)200kgを超え400kg以下	1	基			SPK21040083 0 A=1, B=3, C=2, D=1 単第0-0025 表
円形側溝枥 D300用 グレーチング蓋含む 見積り	1	個			T1001 0
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	0.616	m2			SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1 単第0-0016 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.018	m3			SPK21040140 0 A=1, B=3, C=2, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0-0013 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートトラフ B300-H225					V4001 0
	10	m			単第0-0026 表
モルタル練 普通 混合比1:3					SPK21040141 0 A=2, B=3, C=1
	0.092	m3			単第0-0027 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40					SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1
	5.6	m2			単第0-0016 表
*** 合計 ***					
	10	m			
*** 単位当たり ***					
	1	m			

配線用小型トラフ

G4002

科目内訳表

科目内訳0020号表

頁0-0053

曲線部 B300-H225

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
コンクリートトラフ B300-H225					V4002 0
	10	m			単第0-0028 表
モルタル練 普通 混合比1:3					SPK21040141 0 A=2, B=3, C=1
	0.092	m3			単第0-0027 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40					SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1
	5.6	m2			単第0-0016 表
*** 合計 ***					
	10	m			
*** 単位当たり ***					
	1	m			

台付管

G4004

科目内訳表

科目内訳0021号表

頁0-0054

D250						10	m	当り
	施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考	
	鉄筋コンクリート台付管 据付 管径250mm 台付鉄筋コンクリート管（重圧管）	10	m				SPK21040085 0 A=1, B=2, C=2, E=1 単第0-0029 表	
	モルタル練 普通 混合比1:3	0.06	m3				SPK21040141 0 A=2, B=3, C=1 単第0-0027 表	
	コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.4	m3				SPK21040140 0 A=1, B=3, C=2, F=2, H=2, J=1, K=1 単第0-0013 表	
	型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	2.0	m2				SPK21040142 0 A=1, B=1, C=1 単第0-0010 表	
	*** 合計 ***	10	m					
	*** 単位当たり ***	1	m					

1号ハンドホール

G4005

科目内訳表

科目内訳0022号表

頁0-0055

600型

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハンドホール 据付 基礎碎石無し又は円形断面以外 製品質量2000kg/基以下	1	基			SPK21040087 0 A=1, B=1, C=61, D=2, E=1 単第0-0030 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	0.672	m2			SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1 単第0-0016 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

2号ハンドホール

G4006

科目内訳表

科目内訳0023号表

頁0-0056

1000型

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハンドホール 据付 基礎碎石無し又は円形断面以外 製品質量2000kg/基以下	1	基			SPK21040087 0 A=1, B=1, C=63, D=2, E=1 単第0-0031 表
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	1.850	m2			SPK21040033 0 A=4, B=1, D=1 単第0-0032 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

3号ハンドホール

G4007

科目内訳表

科目内訳0024号表

頁0-0057

1000-1500型

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハンドホール 据付 基礎碎石無し又は円形断面以外 製品質量2000kg/基を超え4000kg/基以下	1		基			SPK21040087 0 A=1, B=2, C=64, D=2, E=1 単第0-0033 表
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	3.000		m2			SPK21040033 0 A=4, B=1, D=1 単第0-0032 表
*** 単位当たり ***	1		箇所			

科目内訳表

1200-1600型

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハンドホール 据付 基礎碎石無し又は円形断面以外 製品質量2000kg/基を超え4000kg/基以下	1		基			SPK21040087 0 A=1, B=2, C=65, D=2, E=1 単第0-0034 表
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	3.346		m2			SPK21040033 0 A=4, B=1, D=1 単第0-0032 表
*** 単位当たり ***	1		箇所			

科目内訳表

1200-1600型

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハンドホール 据付 基礎碎石無し又は円形断面以外 製品質量2000kg/基を超え4000kg/基以下	1		基			SPK21040087 0 A=1, B=2, C=66, D=2, E=1 単第0-0035 表
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	3.346		m2			SPK21040033 0 A=4, B=1, D=1 単第0-0032 表
*** 単位当たり ***	1		箇所			

科目内訳表

1200-1600型

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハンドホール 据付 基礎碎石無し又は円形断面以外 製品質量2000kg/基を超え4000kg/基以下	1		基			SPK21040087 0 A=1, B=2, C=67, D=2, E=1 単第0-0036 表
基礎碎石 碎石の厚さ17.5cmを超え20.0cm以下 RC-40	3.346		m2			SPK21040033 0 A=4, B=1, D=1 単第0-0032 表
*** 単位当たり ***	1		箇所			

特殊桧

400型

G4003

科目内訳表

科目内訳0028号表

頁0-0061

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ハンドホール 据付 基礎碎石無し又は円形断面以外 製品質量2000kg/基以下	1	基			SPK21040087 0 A=1, B=1, C=62, D=2, E=1 単第0-0037 表
モルタル練 普通 混合比1:3	0.018	m3			SPK21040141 0 A=2, B=3, C=1 単第0-0027 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cmを超え12.5cm以下 RC-40	1.190	m2			SPK21040033 0 A=2, B=1, D=1 単第0-0016 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

科目内訳表

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
歩車道境界ブロック撤去 再利用						SPK21040283 0 A=2
	10		m			単第0-0038 表
歩車道境界ブロック 各種(600mm以下, 50kg未満) 再利用設置 RC-40						SPK21040281 0 A=2, B=13, E=1, F=4
	10		m			単第0-0039 表
*** 合計 ***						
	10		m			
*** 単位当たり ***						
	1		m			

取付管およびます設置

G9004

科目内訳表

科目内訳0030号表

頁0-0063

1 箇所 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ます設置工（塩化ビニル製） ます径 200mm	1	箇所			SG1D0088004 0 A=2, B=2, D=1 単第0-0040 表
ます鉄蓋 T-14 材工共 米子市型 （材）見積り、（工）土木コスト情報p283	1	個			T8001 0
取付管布設および支管取付工 管径 1 0 0 mm	1	箇所			SG1D0089002 0 A=1, B=2, D=1, E=3, F=1, G=1 単第0-0041 表
埋設シート布設					V9011 0
水道事業実務必携p63	13.1	m			単第0-0042 表
*** 単位当たり ***	1	箇所			

科目内訳表

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
据付工 ポリエチレン管 φ75					V9001 0
水道事業実務必携p82	30	m			単第0-0043 表
据付工 ポリエチレン管 φ50					V9002 0
水道事業実務必携p82	51	m			単第0-0044 表
据付工 ポリエチレン管 φ20					V9012 0
水道事業実務必携p82	9	m			単第0-0045 表
埋設シート布設					V9011 0
水道事業実務必携p63	87	m			単第0-0042 表
管明示テープ布設 φ75					V9010 0
水道事業実務必携p83	34	m			単第0-0046 表
管明示テープ布設 φ50以下					V9009 0
水道事業実務必携p83	64	m			単第0-0047 表
鋼管 SGP- φ125					T9042 0
建設物価p661	0.96	m			
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設					SPK21040140 0 A=1, B=3, C=2, F=2, H=2, J=1, K=1
	0.096	m3			単第0-0013 表
*** 単位当たり ***					
	1	式			

継手

G9002

科目内訳表

科目内訳0032号表

頁0-0065

1 式 当り

施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
継手工 ポリエチレン管EF接合 φ75						V9003 0
水道事業実務必携p82	19		口			単第0-0048 表
継手工 ポリエチレン管EF接合 φ50						V9004 0
水道事業実務必携p82	26		口			単第0-0049 表
継手工 メカニカル継手 φ50						V9018 0
水道事業実務必携p51	2		口			単第0-0050 表
継手工 ポリエチレン管 φ20 ユニオン継手						V9013 0
水道事業実務必携p82	2		口			単第0-0051 表
サドル分水栓設置 水道配水用ポリエチレン管 φ50×φ20						V9017 0
水道事業実務必携p188	1		箇所			単第0-0052 表
ポリエチレン異形管 片受ベンド EF継手 φ75 45°						T9003 0
建設物価p291	4		個			
ポリエチレン異形管 片受ベンド EF継手 φ75 22° 1/2						T9004 0
建設物価p291	2		個			
ポリエチレン異形管 ソケット EF継手 φ75						T9043 0
積算資料p292	1		個			
ポリエチレン異形管 レデュースー φ75×φ50						T9005 0
積算資料p429	1		個			

継手

G9002

科目内訳表

科目内訳0032号表

頁0-0066

1 式 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン異形管 片受ベンド EF継手 φ50 45°					T9007 0
積算資料p429	10	個			
サドル付分水栓 水道配水ポリエチレン管用 φ50×φ20 分止水栓用継手含む 見積り	1	個			T9025 0
PE外面止水ユニオン継手 φ20 60° 見積り	1	個			T9026 0
PE外面止水ユニオン継手 φ20 90° 見積り	1	個			T9027 0
水道メーターボックス φ20用 見積り	1	個			T9038 0
散水栓ボックス φ20用 見積り	1	個			T9028 0
散水栓 φ20用 見積り	1	個			T9029 0
*** 単位当たり ***	1	式			

連続基礎 H-4000		10	m	当り		
施 工 名 称 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員						RTPC00002 0
	4.4		人			
基礎碎石 碎石の厚さ12.5cmを超え17.5cm以下 RC-40						SPK21040033 0 A=3, B=1, D=1
	7.0		m2			単第0-0053 表
コンクリート 小型構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設						SPK21040140 0 A=2, B=2, C=2, F=2, J=1, K=1
	6.3		m3			単第0-0054 表
型枠 一般型枠 小型構造物						SPK21040142 0 A=1, B=2, C=1
	21.0		m2			単第0-0055 表
目隠しフェンス H-4000 見積り						T3001 0
	10		m			
*** 合計 ***						
	10		m			
*** 単位当たり ***						
	1		m			

メッシュフェンス

G3002

科目内訳表

科目内訳0034号表

頁0-0068

単独基礎 H-1500

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎ブロック, 鋼管基礎 基礎ブロック 金網柵 基礎砕石有り (t=10cm)	5	基			SPK21040244 0 A=1, B=1, D=2, E=1 単第0-0056 表
金網・支柱(立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔2m	10	m			SPK21040245 0 A=1, C=2, D=1 単第0-0057 表
メッシュフェンス H-1500	10	m			T3002 0
見積り	10	m			
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			

メッシュフェンス

G3003

科目内訳表

科目内訳0035号表

頁0-0069

単独基礎 H-2000

10 m 当り

施 工 名 称 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
基礎ブロック, 鋼管基礎 基礎ブロック 金網柵 基礎碎石有り (t=10cm)	5	基			SPK21040244 0 A=1, B=1, D=2, E=2 単第0-0058 表
基礎ブロック フェンス用ブロック 25×25×45 (cm)	5	個			TTPC00367 0
金網・支柱 (立入防止柵) 基礎ブロック 支柱間隔2m	10	m			SPK21040245 0 A=1, C=2, D=1 単第0-0057 表
メッシュフェンス H-2000	10	m			T3003 0
*** 合計 ***	10	m			
*** 単位当たり ***	1	m			